

岡山池田家墓所





薩摩島津家墓所

高野山は、いうまでもなく平安初期に空海がひらいた。

山は、ふしぎなほどに平坦である。

そこに一個の都市でも展開しているかのようには、堂塔、伽藍、子院などが棟をそびえさせ、ひさしを深くし、練塀をつらねている。枝道に入ると、中世、別所とよばれて、非僧非俗のひとたちが集団で住んでいた幽邃な場所があり、寺よりもはるかに俗臭がすくない。さらには林間に苔むした中世以来の墓地があり、もつとも奥まった場所である奥ノ院に、僧空海がいまも生けるひととして四時、勤仕されている。

その大道の出発点には、唐代の都城の門もこうであつたかと思えるような大門がそびえているのである。

大門のむこうは、天である。山なみがひくくたたなずき、四季四時の虚空がひどく大きい。大門からそのような虚空を眺めていると、この宗教都市がしつは現実のものではなく、空に架けた幻影ではないかと思えてくる。まことに、高野山は日本国のさまざまな都鄙のなかで、唯一ともいえる異域ではないか。





丸亀京極家墓所

丸亀京極家墓所
丸亀京極家墓所

三
遍
照
講



AUDIO GUIDE
音声ガイド
No. 63

石田三成墓所

紀州徳川家^{二代}光貞^{三代}綱教^{四代}頼職^{六代}宗直墓

蓮花院墓所



播州加古川片桐家墓所

獻燈

京都市
龜井八儿

昭和十一年建之





加賀前田利長夫人



皇初家累代入道

大久保家累代祖

鏡前
黒田家



有栖川家御

有

川宮御





筑前 黒田家墓所

西般若不斷院

蓮花念佛三昧院

三寶菩提三昧院

三寶菩提三昧院

三寶念佛七佛院











